

今年も水稻の刈取適期が早まります！

- 刈取適期は平年より 1 週間から 10 日程度早まる見込みです。
- 黄化粳割合が 80～90%に達したらテスト粳摺りを行い、刈取りの可否を判断しましょう。
- コンバインや乾燥調製施設の点検・整備を早めに始めましょう。
- 倒伏した稲は、刈分けを行いましょう。

1 いわてっこの刈取適期について

- ・ 刈取適期は、出穂後の積算気温 950～1,050℃が目安で、9月上旬～9月中旬と早まる見込みです。

表1 いわてっこの刈取適期のめやす

市町村 地区	出穂期（月/日）			刈取適期（月/日）（めやす）	
	R 7	R 6	平年値	R 7※	成熟期平年値
洋野町宿戸	7/28	7/29	8/4	(9/9～14)	9/20
洋野町阿子木	7/24	7/26	8/1	(9/2～7)	9/14
久慈市大川目	7/27	7/30	8/3	(9/6～11)	9/15
野田村泉沢	8/6	8/4	8/7	(9/14～19)	9/21

※積算気温 950～1,050℃の期間。8/20 までは現況値、8/21 日以降は平年値により算出。

2 刈取りについて

- ・ 刈取適期が早まる見込みのため、刈遅れには十分に注意しましょう。
- ・ 黄化粳割合が 80～90%に達したら、テスト粳摺りを実施し、登熟状況を確認してから刈り取りましょう。
- ・ 異品種混入防止のために、コンバインや乾燥調製施設の点検・整備を行い、刈取りの準備をしましょう。

3 収穫作業の留意点

- ・ 倒伏した稲を一緒に刈り取ると未熟粒の混入につながり、落等してしまいますので、刈分けを行いましょう。
- ・ 刈遅れは胴割粒や白未熟粒が発生しやすくなるので、適期刈取りに努めましょう。

- ・ このような情報をタイムリーに入手することに役立つ、メール配信をしています。
- ・ 右の二次元コードからメール作成を開き、必要事項を記載の上、お申し込みください。



お問合せ先：JA新しいわて久慈営農経済センター（TEL：0194-52-1318）
久慈農業改良普及センター（TEL：0194-66-9683）
（E-mail：ce0026@pref.iwate.jp）

(参考)

(2) 刈取り適期の判断

積算気温による予測は、栽培条件や日照の多少によってずれる場合があるため、最終的な刈取りの判断は次の手順により、実際の登熟状態を確認しておこないます。特に本年は、高温により刈取り適期が早まる見込みのため、刈遅れには十分注意しながら、圃場毎の登熟状況をよく観察したうえで判断します。

ア 黄化籾割合のチェック

平均的な大きさの穂を観察し、黄化した籾が1穂籾数に占める割合を確認します。
刈取り適期は「黄化籾割合80～90%」（参考：図3）です。



図3 黄化籾割合 90%の穂の状態

イ テスト籾すりによるチェック

黄化籾割合が80～90%に達したら、数穂を採取しテスト籾すりします（図4）。

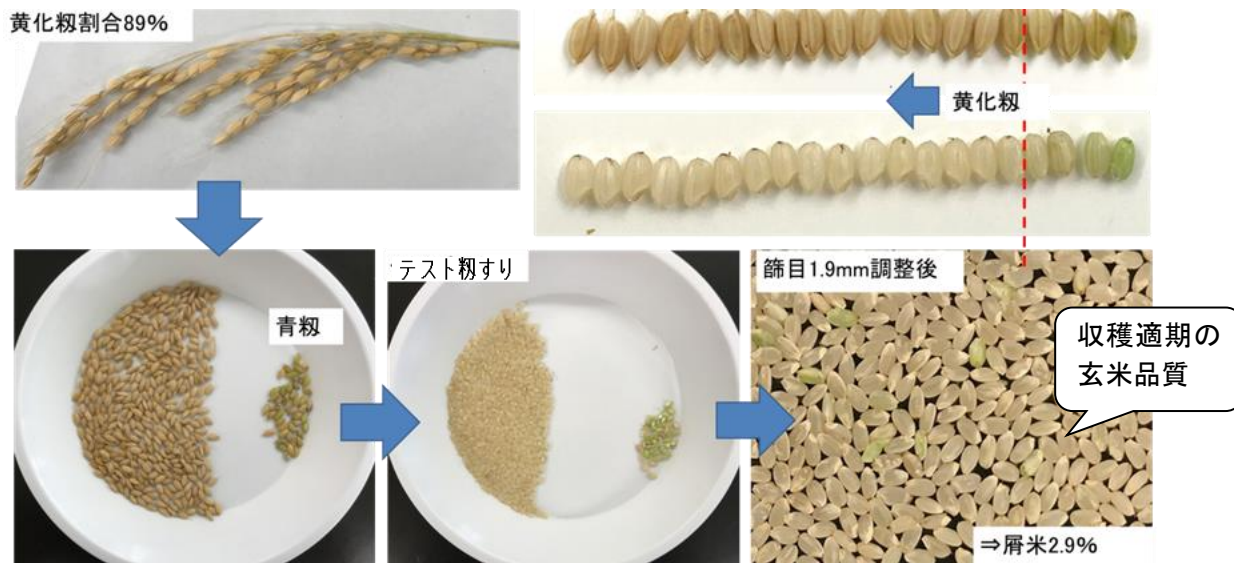


図4 黄化籾割合 80～90%時のテスト籾すり後の玄米の状態

(3) 収穫作業の留意点

- ・ コンバイン収穫では、作業開始前に籾水分が20～25%の範囲であることを確認します。
- ・ 収穫後は生籾のまま放置せず、速やかに乾燥調製施設へ搬入します。
- ・ 水口付近などで登熟が大幅に遅れている部分や、倒伏した部分は可能な限り刈分けを行い、青未熟粒等の混入を避けます。
- ・ 倒伏により穂に土砂などが付着した場合、収穫・調製機械に負荷がかかるだけでなく、玄米の汚損につながる恐れがあるので、作業機の清掃を念入りに行います。